

# 「群馬県支部会報」

発行  
令和5年8月29日  
公益社団法人 日本技術士会  
群馬支部 広報委員会

## ごあいさつ#

支部長メッセージ

ごあいさつ

公益社団法人 日本技術士会  
群馬県支部 支部長 山本 政雄  
(上下水道／総合技術監理部門)



7月の本部理事会において群馬県支部長を拝命し、引き続き務めさせていただくこととなりました山本政雄です。よろしくお願いいたします。

4月27日の内閣官房発表により5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類以降となり、様々な行事が復活し、諸活動も活気を取り戻しつつあります。これまでの群馬県支部の活動にもさまざまな制約がありましたが、会員の皆様のご努力と総意により活動が継続されていることに感謝申し上げます。

コロナ感染症の影響とともにひきつづくウクライナ戦争、資源エネルギー価格の高騰など、社会経済活動におけるさまざまな制約とともに、DXやAIをはじめとするデジタル技術の発展などの状況は、あらためて技術士の役割が求められていると考えております。

皆様が業務やさまざまな活動を通じて持続可能な社会構築に貢献されることを期待するとともに、会員の皆様とともに、技術士としての品位向上や技術的な研鑽に努めて参りたいと存じます。本支部の活動がその一助となるよう取り組みを進めて参る所存です。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

## 第 12 回全体会合

■ 日 時: 令和5年7月21日(金) 午後 13:30～14:15

■ 場 所: Web による会議

■ 次 第: 1 支部長挨拶

2 議 事

- (1) 令和4年度事業報告
- (2) 令和4年度決算報告
- (3) 令和5年度事業計画について
- (4) 令和5年度収支予算について

※ 議事内容は、特に異議なく報告されました。



事業計画

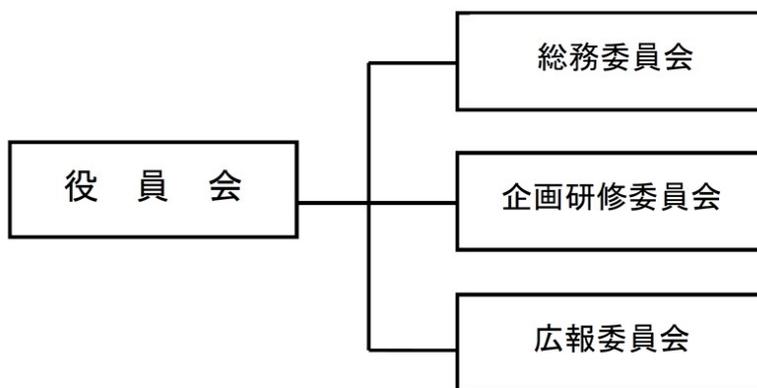
■活動方針 \*昨年度と同様(継続)

- ・地域密着型の積極的な技術士活動の促進による地域貢献
- ・社会的ニーズに応え得る技術士の研鑽活動
- ・技術士の更なる知名度向上

[全体会合(本会)、CPD講演会や見学会の実施、令和5年度役員会議、支部会報の発行等]

組織

■会員数 正会員103名 準会員41名 計144名(令和5年4月末日現在)



氏名	部門	令和5年度・6年度役職名 ・委員会名
岩井 健吉	建設	幹事、企画研修委員
大竹 雅久	機械	幹事、企画研修委員長
小池 広明	建設、総合技術監理	幹事、広報委員長
佐藤 孝史	上下水道、建設、衛生工学、総合技術監理	幹事、副支部長、総務委員
住谷 英樹	上下水道	幹事、総務委員
福田 文彦	応用理学	幹事(会計)、企画研修委員
眞下 寛治	機械、	総務委員、事務局
松栄 準治	機械	幹事、広報委員
松本 稔	上下水道、総合技術監理	幹事、広報委員
山本 政雄	上下水道、総合技術監理	支部長、総務委員長

講師紹介

「食用コオロギの社会実装に向けた挑戦」

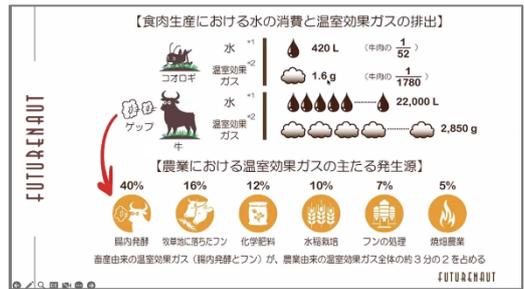
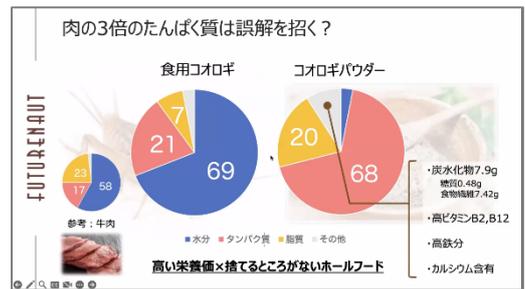
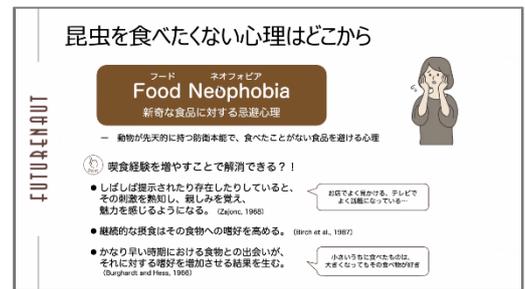
講師：櫻井 蓮 様

[FUTURENAUT 株式会社 代表取締役 CEO

高崎経済大学大学院 博士前期課程修了]



講演の様様



感想

群馬県支部では、分野横断的な技術の社会要請に対して、様々な分野の研究者や技術者をお招きしてご講演いただいております。

さて、今回のテーマですが、私には「ちょ、ちょっと待ってよ。昆虫でしょ(食べられないでしょ)」という感じ(とはいえ、昭和50年代にイナゴを食べましたけど……)。さて、実際にどうなのか？

汚い昆虫は使わないのね。昆虫の栄養価は牛肉に比べてタンパク質が豊富なのね。おまけにコストパフォーマンスもよい……良い点ばかりじゃないですか！ 今後、調達リスクや食品ロスの課題解消に寄与しそうですね。これから、昆虫の存在を見直す必要がありそうですね。

お忙しい中、どうもありがとうございました。